

植物多様性センターの「ウツボグサの夏枯れ」

ウツボグサはシソ科の多年草で、夏枯草「かこそう」という別名があります。確かにこの時期の花をつけた茎は、花序ごと黒く枯れています。円柱形のトウモロコシの果軸のようなものが枯れた花序で、分解してみると中には成熟した種子が入っています。花茎の足元には匍匐茎が広がって、植物体そのものも維持されているのがわかります。ウツボグサは枯れたように見えるだけで、じつは種子でもよく増える丈夫な多年草なのです。



夏枯草の別名の通り、焦げ茶色に枯れた花序と花茎



枯れた花茎の株元：花後に匍匐茎が伸びて茂った茎葉



矢を入れる容器、鞆(うつぼ)に例えられる枯れた花序



枯れた花序の中身：苞に包まれたガクの中に種子が入っている